

ノヤマ通信

vol.42 (2026.如月)



森のようちえんヒュッテ

【1月の活動記録：8日山の基地、15日山の基地、26日山の基地、29日野村シルク博物館】

●活動を見つめるコラム①

「子どもの遊びをどこまで見守れるか」

久々に雪が積もった翌日の活動日のこと。子どもたちは池に張った分厚い氷を割ったり、雪でままごとをしたり、傾斜でソリ遊びを楽しんだりしていました。

お昼ごはんを食べた後、Sちゃんは雪だるまをせせと作り始めました。雪がたくさん残っている場所を探しながら、畑の方でゴソゴソ、コロコロ。そうこうするうちに立派な雪だるまができました。「どこに置いたらいいかねえ 😊」と聞かれたので、岩の辺りがいいんじゃないかと答えました。見晴らしの良いところにいる門番みたいな感じで、なんかいいなど。

それからは、雪だるまの飾りつけです。分厚い氷を頭の上に置き、枝を探してきて手を付ける。その日のクッキングで使わずに残った、ちょうど良いサイズの人参も献上しました。だいぶできてきたな〜と見守っていたら、私のストールを貸してほしいと言われました。雪だるまが寒そうなので、ストールを巻いておきたいと。よく見ると、雪だるまはすでに手袋とネックウォーマーをつけています。この時、ストールを貸すかどうか、5秒くらいぐるぐる考えました。絶対びしょびしょになるし 😊。結局、ストールを渡し、雪だるまは完成しました。そしたら今度はこのままにして帰りたいと。15秒くらい悩んだけど、そのまま帰路につくことにしました。

帰り道、私たち親子のやりとりを見ていたお母さんと、子どもの言うことをどこまで聞くか？という話をしました。ストールに関して言えば、洗えばきれいになること。明日は雨予報なので本当はそのままにして帰りたいなかったけど、明日は時間に余裕があるから、最悪、雨が降る前に取りにければいいかと思って、OKしたこと。そして、いつも子どもの想いを聞き入れられる訳でもなく、自分の心と時間の余裕を天秤にかけつつ、話しながら、どうするかを決めていること…。また、皆さんのお話も聞かせてください。(ち)



▲1/29森のようちえん：藍染体験（野村シルク博物館）

●活動を見つめるコラム②

「あたりまえを見直す」

1月から、ヒュッテで「みんなで『いただきます』をする」ということをやめてみました。今までなんとなく、みんなでやると決めていましたが、発達段階に差のある異年齢の集団でそれを行うことにどれほどの意味があるのか、その縛りを設けることで損なわれるものもあるのではないかと考えるようになったからです 😊。

1月からは寒いのでクッキングの頻度も増えました。できたての温かいものを、温かいうちに各々いただきますをして、食べてもらうようにしています。この変更によって、場がどう変わるのか、引き続き見ていきたいと思います 😊。(ゆ)

👤👤 山の基地

【1月の活動記録：11日、31日…開放日、6日、15日、22日、25日…日常管理】

●1月の開放日は、七輪が活躍しました。炭火でじわじわ焼けるので、落ち着いて魚を焼いたり、マシュマロを焼いたり。大きなバーベキューコンロと違い、小さい七輪を囲むと、自然と人と人との距離も縮まります 😊。七輪の価値が見直されてほしいなあとつくづく思います。



●1/31の開放日に、「バイオネスト」を作りました。バイオネストとは、剪定した枝などを鳥の巣のように丸く積み上げ、その中に落ち葉や刈った草などを入れてコンポストとして使うものです。



毎年、この時期はキウイの剪定で長い枝がたくさん出ます。それをみなさんが運んでくれて、あっという間にいい感じのものができました！堆肥づくりとともに、いろんな生きものすみかになればいいなと思っています♡。



●今年の1月から「林野火災注意報・警報」の運用が始まりました。雨が降らず、乾燥した日が長期間続いた状態で強風注意報が出ると、警報が発令されます。

警報が発令されると野外でのたき火は禁止になっていて、違反したら罰則もあります😞。私は、防災無線のお知らせで知って「えっ！」とびっくりしました。これ、冬場も野外で活動をする団体やキャンプ場にとっては、けっこう深刻な話では…。(実際、林野火災警報が出るとたき火ができないので、利用をキャンセルされるキャンプ場もあるようです😞)

そのあと、消防署に問い合わせをしたり、他の団体では、どんなふうに対応しているのか情報収集をしたりして、山の基地では、小屋の煙突まわりに伸びている枝を伐採し、警報発令時は小屋内の薪ストーブで調理を行う、という対応で乗り切ることにしました。

山火事は絶対に起こしてはいけないものですが、子どもたちが外で遊ぶ機会は大切にしたい。社会や環境が変わっていく中で、どう譲れないものを守っていくのか、色々試されているなあと感じます。

✿✿ その他の活動

●石積みワークショップに参加 (1/20)

西予市三瓶町で開催される石積み体験に、友人もゲストとして来るというので参加してきました。主催の亀井さんは明浜で柑橘農家として働きながら、石積み修繕士としても活躍中。そのつながりで参加者は女性が多く、



明るくにぎやかな雰囲気現場でした。昨年、山の基地でも石積みを見せてもらいましたが、石積みはしばらくやっていないと、感覚がにぶるので、山の基地でも定期的に修復をやれたらいいなあと思いました。



●明浜のジオ研修を実施 (1/24)

12月から、西予市明浜町高山地区で、ジオパークの研修が始まりました。地元のことを自分の言葉で語れる人を育てるという目標を掲げて、コーディネーターを引き受けています。今回は、高山の集落を歩きながら、気になるもの、おもしろいものを探すまち探検。倉庫のような外見のカラオケ屋や釣り餌に使えるエビが取れる場所など、地元の人しか知らないものを色々紹介してもらいました。ジオパークの活動の核になるものは「世界をどう見るか」ということだと思っていて、残りの回では、その辺を伝えていきたいと考えています。(ゆ)



🌀 よもやま話

●先日、三女と一緒に風呂に入っていた時のことです。「ブランコとかは(友達に)いつもゆずらんといけんの？」と聞かれました。自分も遊びたいと思っているのに、がまんして、いつも友達に代わってあげないといけないのか、そんな気持ちだったようです。

「自分の気持ちも、友達の気持ちも両方大事にして、かわりばんこにするのが一番やと思うよ」と答えたら、すかさず「じゃ、二番は？」と返ってきました。

「自分の気持ちと友達の気持ちのどっちを大事にするのか？」ということを書いて、「この子、ほんとに我が強いな🌀」と思いましたが、最良の方法がとれないときに次善の方法を問うこの問いは、なかなかどうして力強い。

今回は、「パパは、友達の気持ちを大事にしてほしいな」と伝えましたが、みなさんならどう答えるでしょうか。(ゆ)



<発行> 一般社団法人

ノヤマカンパニー



愛媛県西予市宇和町稻生237-1

noyama.company@gmail.com